

コロナ対策ガイドライン

JFA のガイドラインより

・「新しい日常」・「新しい生活様式」への適応

コロナ前の日常が即座に戻ることは無いということを前提に、置かれた状況の正確な分析・理解に基づくガイドラインを設計する

【安全を最優先に】

生命、健康の安全を最優先に、感染拡大リスクを最大限に排除した、選手・チーム・指導者・運営スタッフ等、フットボールファミリー全体が安全に活動できる環境を協力し作る

- ① 各チーム健康管理者を置き、試合の1週間前から選手・スタッフの健康チェックを行うこと。チェックシートは感染者が発生した時に備えて、必ず1ヶ月は保管する。試合当日に【チーム用健康チェックシート】を提出すること。当日受付で体温チェックを実施しますので当日の体温をチェックシートに記入して提出をお願いします。
- ② 無観客試合とする。カメラマン含むスタッフの氏名も健康チェックを行い帯同者欄に必ず記入する事。名前の無い者の入場は認めない。家族の帯同も観戦、応援目的は認めない。仕方のない理由がある場合は事務局にご相談ください。
- ③ 来場者は必ずマスクを着用し、入り口にて検温・手指消毒を行ってから入場すること。体温 37.5 度以上は入場を認めない。
- ④ 参加申込書の役員欄に記載している者の中から最小限のスタッフで試合に参加すること。※記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
- ⑤ ベンチでは、選手個々に指定した位置へ座ること。スタッフはマスク着用。
- ⑥ マイボトルを準備し、アイシングバックなども他の選手と共有しないこと。
- ⑦ チームで消毒剤を準備し、定期的に手洗い・消毒を行う。マイタオルを持参すること。
- ⑧ 試合開始時にメンバーチェックが完了していない選手は、試合に出場できない。
- ⑨ 試合前後の挨拶は行わない。円陣やハイタッチの禁止し、接触を避けること。
- ⑩ 前後半のベンチ交代は行わない。※ベンチの消毒は各チームで行うこと。
- ⑪ 入退場の際ビブスの受け渡しはしない。※入退場のルールは厳守する事。
- ⑫ オフィシャルは最小人数で行うこと。主審・副審・三審・タイマー記録員1名・ボールパーソン4名。オフィシャルで使用する 机や椅子、器具等はこまめに消毒をすること。
- ⑬ 禁煙所で密にならないように。
- ⑭ ミーティングや着替えは手早く行い、間隔をあけて密にならないこと。
- ⑮ 高知県の活動レベル※図①参照が、1又は2になった場合は、大会開催を協議する。
- ⑯ 来場者のコロナ感染が発覚した場合は、速やかに大会運営へ連絡すること。※感染疑い

の段階でも連絡すること。参加者に注意喚起を行う。

※図①

活動レベル	対象	入場者数
1 緊急事態宣言	当該都道府県が対象の地域	—
2 感染拡大注意	当該都道府県が対象の地域	最大 50 人程度
3 感染観察	当該都道府県が対象。他地域 で政府の 3 区分が混雑	100 名以下、かつ定員の 50%以下
4 感染観察	全ての都道府県が対象の地域	制限なし
5 感染観察	全ての都道府県が対象	制限なし